

2020.10 – 2021.3
コースフロー / コースカリキュラム

RPA

RPA（Robotic Process Automation）製品を使用して
業務自動化のロボットを開発するために必要な
基礎知識と技術が修得できます。

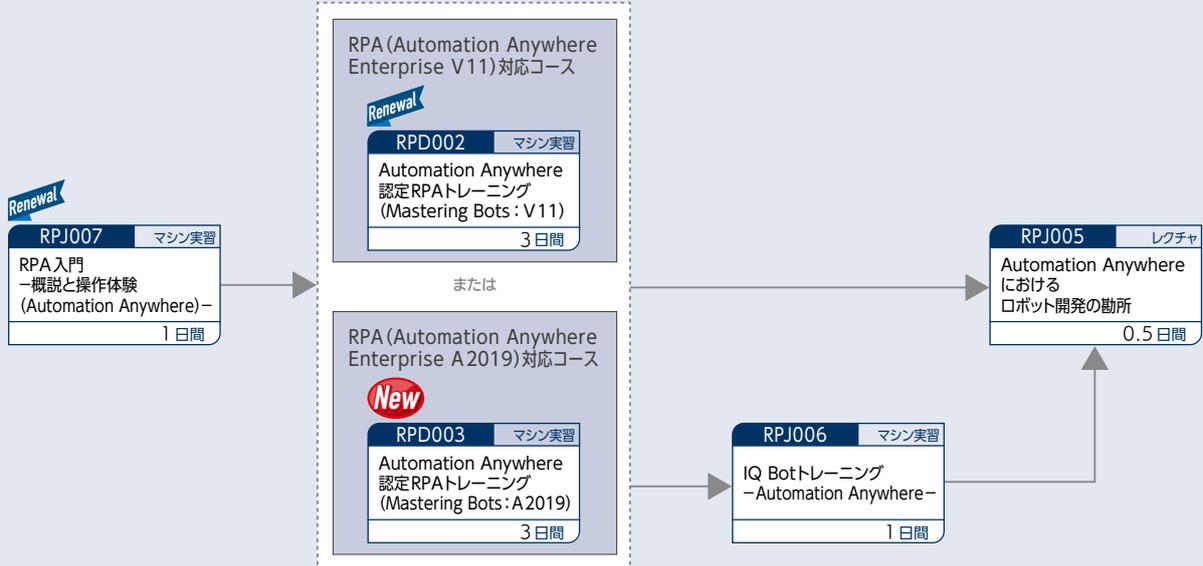
<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

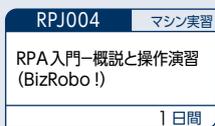
Automation Anywhereを使用して業務自動化のロボットを開発する方



UiPathを使用して業務自動化のロボットを開発する方



BizRobo!を使用して業務自動化のロボットを開発する方



Blue Prismを使用して業務自動化のロボットを開発する方



- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

RPJ003	RPA
 マシン実習 2日間	UiPath公式速習プログラム実践 —業務プロセス定義書・ワークフロー開発—
RPA開発までのフェーズごとに必要なことと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要となる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。	
到達目標 ・業務改善手法の基礎・業務可視化の重要性を理解できる。 ・業務プロセス定義書の作成・活用ができる。 ・ビジネス例外、アプリケーション例外の違いが説明できる。 ・既知のビジネス例外をリストアップできる。 ・RPA化する業務プロセス、RPA化しない業務プロセスを選定できる。 ・メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発方法の基礎が理解できる。	
対象者 ・RPA化対象の業務プロセス定義書の作成方法を修得したい方。 ・メンテナンス性に優れたワークフローの開発方法を修得したい方。	
前提知識 「UiPath公式速習プログラム入門—基本操作ハンズオン—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. UiPath公式速習プログラム入門の復習 2. 業務プロセス定義書の活用・作成方法 3. メンテナンス性に優れた安定的なワークフロー開発方法 4. ワークフロー作成演習	
備考 ・このコースは、UiPath社提供のテキストを使用します。 ・このコースは、UiPath社の「UiPath公式速習プログラム実践」(2日間)の研修と同じ内容です。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。	

RPJ004	RPA
 マシン実習 1日間	RPA入門 —概説と操作演習 (BizRobo!)—
RPA (BizRobo!)の基礎について学習し、RPAツール(BizRobo!)によるロボット作成の演習を行います。	
到達目標 ・RPAの概要や導入事例が説明できる。 ・RPAツール(BizRobo!)の概要・特徴を理解し、説明できる。 ・RPAツール(BizRobo!)を使用して基本的なロボットの作成・実行ができる。	
対象者 ・RPA(BizRobo!)の導入・提案を検討している方。 ・RPA(BizRobo!)の基礎から学習したい方。	
前提知識 Microsoft Windowsの操作経験があること。	
内容 1. RPA概要 2. BizRobo!の紹介(構成/インストール/機能概要) 3. ロボット作成演習 ・Webページからの業務情報自動収集 ・PCデスクトップ上で動作するプログラムの自動操作	

RPJ008	RPA
 マシン実習 2日間	RPA入門 —概説と基本操作 (Blue Prism) — New
RPAツール「Blue Prism」の業務を自動化するための機能について、マシン実習(ロボット作成)を通して学習し、基本操作を修得できます。	
到達目標 ・Blue Prismの製品概要が説明できる。 ・アプリケーションモデラーを使った画面要素の取得ができる。 ・オブジェクトの作成ができる。 ・プロセスの作成ができる。 ・分岐・繰り返し処理の実装ができる。 ・例外処理の実装ができる。 ・ワークキューの作成・実装ができる。	
対象者 ・Blue Prismによるロボット開発手法を学習したい方。 ・Blue Prismの導入を検討している方。	
前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。	
内容 1. Blue Prism製品概要 2. Blue Prismの基本操作(オブジェクト作成、プロセス作成) 3. Blue Prismの応用操作(データの入出力、繰り返し処理の実装、分岐処理の実装、コントロールルームの操作) 4. 例外処理の実装 5. ワークキューの実装	

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>